

(2024年12月8日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会  
後援 文 部 科 学 省  
令和6年度(第16回) 管理会計検定試験  
審 査 基 準

【1】

1	2	3	4	5	6
ウ	シ	コ	ケ	カ	ク

【2】  
問1

(1)	配賦率	640	円/時
	製品Bに配賦される金額	1,920,000	円
(2)	製品Cに配賦される金額	1,100,800	円

問2

(1)	95,000	千円
(2)	8	%

問3

(1)	最適セールス・ミックス	A製品	360	個
		B製品	560	個
	営業利益		598,500	円
(2)	1セットあたりの貢献利益額		14,700	円
	損益分岐点販売量	A製品	375	個
		B製品	250	個

## 【3】

(1) 見積貸借対照表に計上する現金

2,855,000 円

(2) 見積貸借対照表に計上する売掛金

5,768,000 円

(3) 見積貸借対照表に計上する材料

4,020,000 円

(4) 見積貸借対照表に計上する支払手形

2,160,000 円

(5) 見積損益計算書に計上する売上高

103,500,000 円

(6) 見積損益計算書に計上する売上総利益

34,680,000 円

(7) 見積損益計算書に計上する販売費及び一般管理費

32,914,000 円

## 【4】

		直接標準原価計算による損益計算書		(単位：円)	
I	売上高		(	16,500,000)	
II	標準変動売上原価				
	月初製品棚卸高	(	2,280,000)		
	当月完成品製造原価	(	7,600,000)		
	合計	(	9,880,000)		
	月末製品棚卸高	(	1,520,000)	(	8,360,000)
	標準変動製造マージン		(	8,140,000)	
III	標準変動販売費		(	330,000)	
	標準貢献利益		(	7,810,000)	
IV	変動原価差異				
	価格差異	(	△ 58,600)		
	数量差異	(	△ 96,000)		
	賃率差異	(	△ 77,800)		
	作業時間差異	(	21,000)		
	予算差異	(	△ 38,900)		
	能率差異	(	9,000)		
	変動販売費差異	(	△ 10,000)	(	△ 251,300)
	実際貢献利益		(	7,558,700)	
V	固定費予算額				
	固定製造間接費	(	1,500,000)		
	固定販売費及び一般管理費	(	660,000)	(	2,160,000)
VI	固定原価差異				
	固定製造間接費差異	(	△ 100,000)		
	固定販売費及び一般管理費差異	(	△ 10,000)	(	△ 110,000)
	営業利益		(	5,288,700)	

## 【5】

## 問1

(1) A案を採用した場合の機会原価

820 億円

(2) 最大の利益をもたらす案とその場合の機会原価

C 案 740 億円

## 問2

(1) 購入したほうが 2,200,000 円 だけ ( 有利 ・ 不利 ) である。

(2) 購入価格が 925 円/個 未満であれば、購入に切り替えるべきである。

## 問3

(1) 新規注文を引き受ける前の操業稼働率

80 %

(2) 新規注文を引き受ける前の営業利益

14,240,000 円

(3) 新規注文を引き受けたほうが、

2,420,000 円 だけ ( 有利 ・ 不利 ) である。

(4) 既存の顧客に対して、販売価格を 6,700 円に引き下げて新規注文を引き受けたほうが、

100,000 円 だけ ( 有利 ・ 不利 ) である。

(5) 既存の顧客に対して、販売価格を 6,600 円に引き下げて新規注文を引き受けたほうが、

728,000 円 だけ ( 有利 ・ 不利 ) である。